
令和8年3月定例会

令和8年度当初予算（案）総括



奈良市

Old History,
New Discovery.

各会計の予算規模と前年度比較

一般会計: 1,950 億円(対前年度比 +16.6%)

全会計: 3,105億 9,400万円(対前年度比 +11.2%)

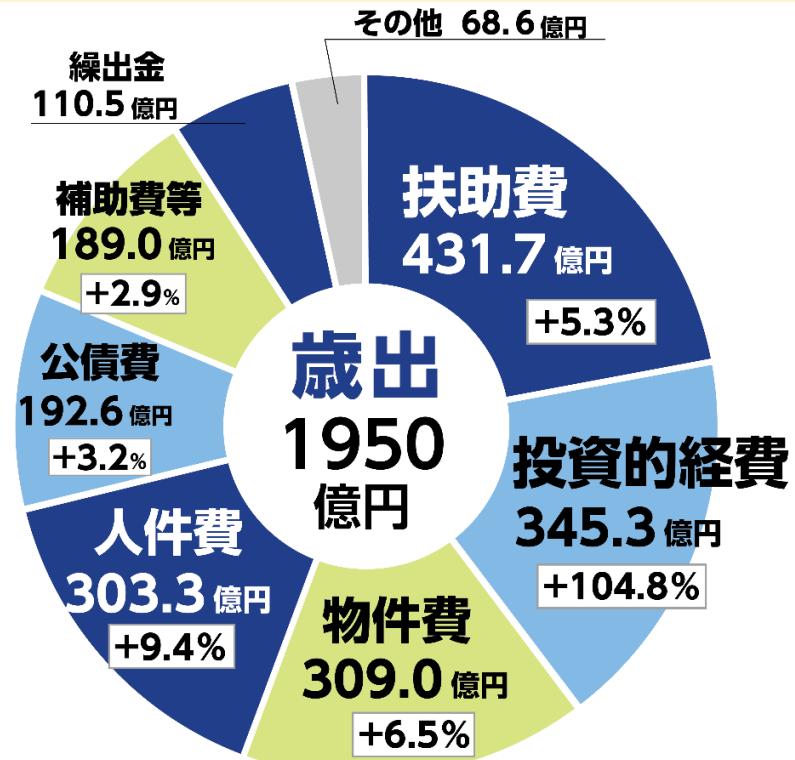
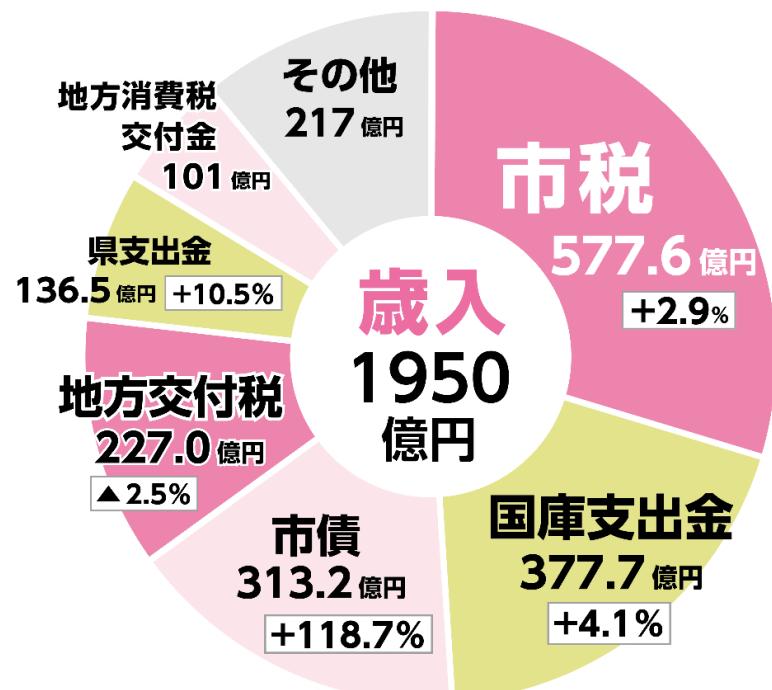
(単位 : 千円)

会計名	令和8年度	令和7年度	増減	増減率
一般会計	195,000,000	167,288,148	+27,711,852	+16.6%
特別会計	86,303,000	84,725,000	+1,578,000	+1.9%
公営企業会計	29,291,000	27,206,079	+2,084,921	+7.7%
合計	310,594,000	279,219,227	+31,374,773	+11.2%

投資的経費の増加により一般会計の予算規模は増加

一般会計総額は、前年度比16.6%増の1,950億円となり予算規模は4年連続過去最大。歳入のうち、市税は2.9%(16億円)増の578億円となり、昨年度に続き平成17年度の合併以降の最大額を更新。歳出のうち、投資的経費は老朽化した

環境清美工場の大規模改修が最終年度にあたるほか、佐保小学校校舎の建設などにより、104.8%(177億円)増。給与改定と定年延長に伴い人件費、障害福祉サービスの給付増加で扶助費も増。



市債残高の推移

令和8年度は市債残高が一時的に増加しますが、環境清美工場の改修(105億円)と佐保小学校の校舎建設(43億円)が増加の大半を占めており、いずれも数十年に一度の更新時期が重なったことによるものです。長期的に見ると市債残高は、ピーク時(平成24年度末)から612億円減少しています。

